

### 第3回花巻市行政評価委員会会議録

#### 1 開催日時

- (1) しごと部会 平成24年10月29日(月) 午前9時30分～午前11時40分
- (2) くらし部会 平成24年11月1日(木) 午前9時30分～午前11時30分
- (3) 人づくり部会 平成24年11月1日(木) 午後6時～午後9時

#### 2 開催場所

- (1) しごと部会 花巻市花城町1-47 まなび学園 3階 第3学習室
- (2) くらし部会 花巻市花城町1-47 まなび学園 3階 第4学習室
- (3) 人づくり部会 花巻市花城町9-30 市役所本館 3階 302・303会議室

#### 3 出席者

- (1) しごと部会  
委員 4名  
影山部会長、伊藤(純)委員、長澤委員、高橋(セ)委員  
事務局、施策及び事務事業担当課
- (2) くらし部会  
委員 5名  
木村部会長、高橋(則)委員、伊藤(成)委員、永井委員、高橋(勝)委員  
事務局、施策及び事務事業担当課
- (3) 人づくり部会  
委員 6名  
倉原部会長、瀬川委員、阿部委員、久保田委員、福盛田委員、菊池委員  
事務局、施策及び事務事業担当課

#### 4 議題及び報告事項

評価対象の施策及び事務事業の評価を行った。

##### (1) しごと部会

◆施策：産学官連携と企業誘致による地場産業の確立

##### 【主な意見】

- ・成果指標は、「産学官連携や企業誘致によって市内で新たに事業展開を行なった事業所数」、「製造品出荷額」とシンプル過ぎるので、工夫する必要があるのではないかと。
- ・産学官連携と企業誘致は別物であると思うので、産学官連携による事業展開をした事業所数と、企業誘致により事業展開を行った事業所数を分けられるのであれば、分けた方がよい。
- ・成果指標の「製造品出荷額」は23年度の実績が出ていない。岩手経済研究所のデータは6か月後位に公表されるので、23年度の数値を記載して、それに対し現況

がどうかを見た方がわかりやすい。

- ・産学官連携で得られた成果を、公表出来る範囲で、成果指標として出した方が良いのではないか。目標値として出すのが難しいのであれば、実績として示す欄があっても良い。
- ・成果指標の目標値が年間 50 億円増加するという数字の意味あい不明である。
- ・震災の影響もあると思うが、目標と実績がかけ離れているという問題があるのではないか。
- ・製造業を一括りにせず、食品や生活関連の製造業、基礎・素材型の製造業、加工・組立型の製造業など 3 分類ぐらいに分けて指標を設定してはどうか。
- ・成果指標の 23 年度実績が出ていないのに、評価しているのは疑問である。

#### ○事務事業：企業活動総合支援事業

##### 【主な意見】

- ・事業開始の背景として、雇用拡大を目指すところがあるので、雇用の拡大にどう寄与しているかを成果指標とすることは出来ないか。
- ・事業を実施した企業がプラスになったと評価しているのであれば、事例を報告書にまとめ、企業訪問時やホームページなどでPRすべきである。
- ・アドバイザーの派遣により生産性や職場環境が改善した例があると思うので、事例をPRすることは良いのではないか。
- ・活動指標に、企業訪問数があれば、市の活動状況が分かりやすい。
- ・企業が全国展開をする場合、展示会への出展制度があると良いのでもっとPRすべきである。
- ・とても効果のある施策であるので、さらに予算をつけて実施した方が良い。
- ・制度として知らない企業は多く、また制度を知っていても、この事業を活用するところまで踏み込めないことも企業も多いので、市が扉を開いてあげることが必要である。
- ・アドバイザーと企業ニーズがミスマッチとなることもあり、そのコーディネーターは行政が行う必要がある。
- ・活動指標に、制度を周知するための企業訪問活動やPR活動、アドバイザーと企業とのマッチング回数などを入れてはどうか。

#### <再ヒアリングで聞きたい事項>

- ・支援制度を行って、成果として挙げた点と課題が残った点を具体的に聞きたい。

#### ◆施策：まちぐるみ観光サービスの産業化

##### 【主な意見】

- ・対象指標のターゲットを関東圏のみとしているが、花巻空港を考慮し、福岡や愛知も入れても良いのではないか。
- ・若者の旅行者が減ったのであれば、シルバー世代をターゲットとしたパッケージ

ツアーの作り方もあるのではないか。

- ・二次交通の検討が必要。賢治記念館から大迫、東和などへのアクセスがない。バスが1時間に1本では観光地ではない。
- ・内部評価は低い評価であるが、花巻市だけの問題ではなく、震災や原発事故の影響もあり、ある意味やむを得ない。
- ・二次交通については、JRやタクシー業界とタイアップした施策を作っているようであるので期待したい。

## (2) 暮らし部会

- ◆施策：防災体制・減災対策の拡充  
施策内容に対する質疑

- 事務事業：火災予防対策事業  
事業内容に対する質疑

- 事務事業：消防団活動支援事業

### 【主な意見】

- ・団員の充足率が93%ということだが、地域差があり、街なかの充足率が低いのではないか。
- ・附表の効率性評価の欄に記述されている内容は人件費の削減余地のみとなっている。団員の報酬など事業費の削減余地についての検討がないので改善を要する。
- ・消防団員の身分が非常勤特別職の公務員にあたるということがあまり知られておらず、周知が必要ではないか。

## (3) 人づくり部会

- 事務事業：全庁意識改革推進事業

### 【主な意見】

- ・海外研修に事業費全体の7割を使っているのだから、それに関する成果指標が必要ではないか。予算配分が少ないものを成果指標に挙げるのは違和感を感じる。
- ・1,000人の職員がいて職員提案応募件数が18件だとずいぶん少ないのではないかと。
- ・指標が全てではないということは理解する。文章による表現で評価していくということも必要である。
- ・事業手法に「理想の花巻市職員像」とあるが、中身は当たり前のことではないか。理想像はあっていいと思うが、理想の職員が市民生活のために仕事をする職員というのは、書かなくても良い。市民と職員が一緒にやっていくように市民が求める職員の理想像として掲げる方が良いのではないかと。適切な表現に変えるべきである。
- ・市民アンケート結果を見ると、窓口サービスが良くなっているという結果になっている。実際に窓口サービスは良くなっているのだから、意識改革が進んできている

という認識はあり、マイナスなことばかりではなくプラスについてもきっちりマネジメントシートに記述すればよいのではないか。

◆施策：NPOの活動促進と支援

【主な意見】

- ・把握できないNPO数を成果指標としているが、おかしいのではないか。
- ・成果指標は、市で正確に把握しているNPO法人などにする必要があるのではないか。
- ・事務事業貢献度評価結果にコミュニティ助成事業と在京人会有るが、施策マネジメントシートで全く触れていないので、少し記述があっても良いと思う。

○事務事業：市民参画協働推進事業

【主な意見】

- ・活動の評価として、NPOの活動に支援したということよりも、支援した団体がどうだったのか、どのようなことをやりましたという評価の方がよいのではないか。
- ・この事業の評価は、成果指標だけでは計れない。成果を計るために指標以外のものを検討する必要がある。このシートは予算のためには良いと思うが、評価に使用するには限界があるのではないか。

○ヒアリング後の意見交換

- ・指標の設定に苦労した跡が見えず、とりあえず挙げているという感じがする。
- ・職員の意識改革は、自己評価結果を用いてはどうか。
- ・担当者自身が成果指標の設定内容に疑問を持っているのであれば、シートに記入されているのはおかしい。
- ・短時間で限られた資料で評価するのは難しい。

※第4回の再ヒアリングについては、行なわないこととした。

5 傍聴人数

- (1) しごと部会 0人
- (2) くらし部会 1人
- (3) 人づくり部会 1人

6 問い合わせ先

花巻市政策推進部企画調整課

電話番号：0198-24-2111（内線211）